

# 鯖大師満足行の心得

## 札所参拝について

- ① 手水を使って身を浄め、速やかに本堂御宝前に納札、賽銭、献燈、献香し、他の参拝者の迷惑にならない様、一箇所に固まって着座する。(座する場所は、導師、先達の指示に従って下さい。)
- ② 合掌し、直頭の声に従って、和し、読経する。
- ③ 読経の速さは、速からず、遅からず、唱うこと。
- ④ 読経、参拝後、先達の指示に従い、必ず清掃すること。

## 道中について

- ① 歩行中は1列にて間隔を保ち、歩行する。
- ② 歩行中、必要以外の私語は慎む。
- ③ 歩行は、原則として歩道を歩行する。
- ④ 歩道のない道路は山側を歩行する。
- ⑤ 道路の横断は先達の指示に従い、左右を確認を注意し、横断する
- ⑥ 歩行中、地元の人歩行がある場合、地元の人を優先する。
- ⑦ 信号機のある時は、必ず、信号に従って下さい。
- ⑧ 歩道上にアキカン、ゴミ等があれば速やかに片付ける。
- ⑨ 昼食の弁当箱、飲んだジュースのアキカン等は必ず始末する。
- ⑩ 道中、足の故障、ケガ、及び、特に疲労の激しい時は、速やかに先達、導師に連絡して下さい。
- ⑪ 道中、一般民家等でお手洗いをお借りした時、一人100円位のお礼をする。

## 宿泊について

- ① 宿泊所に到着したならば、先達の指示に従い、一日の無事の感謝と、今晚、宿にご厄介になる気持ちをこめて般若心経一巻を唱える。
- ② 般若心経読経後、先達に本日の御礼を述べる。
- ③ 一日の無事を感謝し、金剛杖をていねいに洗う。
- ④ 分宿、部屋割り等は、先達の指示に従って下さい。
- ⑤ 風呂、食事時間、出発時間等は、時間厳守する。
- ⑥ 班長は宿泊所の構造、非常口等を確認する。
- ⑦ 食事は全員で食前食後作法を行う。
- ⑧ 宿泊所の寝具、道具類は宿泊所の指示に従って、整理整頓して下さい。指示なき場合は元通りにして下さい。
- ⑩ お遍路の大事は下座行です。すべてに及ぶことですが、宿泊所では、護美を片付け掃除をし、便所の履物、スリッパ等を必ず元通りにすること。班長の方は、出発時、最後に忘れ物、部屋の片付け等を確認する。

- ⑪ 宿泊所出発時は、宿の玄関で、お宿のお礼の心経を唱え、挨拶をしてから出発する。
- ⑫ 出発時に、先達様に本日のお世話になる挨拶をする。

#### その他

- ① 歩く遍路は足が大事です。豆などを作らない様に出発時に十分注意し、手あてをしておくこと。
- ② 自分の荷物は自分が持つのが、基本です。余分な荷物はもってこないこと。